

平成 28 年 2 月分電力需給状況

需要の概要

平成28年2月分の販売電力量は、23億1千5百万kWh時、前年比 100.4%（うるう年の影響を補正すると98.5%）となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、2月分の検針期間に含まれる1月中下旬の気温が低めに推移したことによる暖房需要の増はあったものの、省エネ機器の普及による影響などから前年比 99.1%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、2月上旬の高気温による暖房需要の減はあったものの、うるう年の影響などから、前年比 100.6%（うるう年の影響を補正すると 97.2%）となった。

産業用の「大口電力」は、化学や鉄鋼が前年を上回ったことに加え、うるう年の影響などから、前年比 103.1%（うるう年の影響を補正すると 99.5%）となった。

うるう年の影響について

・特定規模需要は、2月29日が2月分の検針期間に含まれるため、昨年より1日分多くなり、この影響が含まれている。

・電灯などの特定規模需要以外の需要は、2月分検針期間が1月の検針日～2月の検針日の前日までであるため、2月29日は3月分に含まれることとなり、2月分への影響はない。

需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	938	99.1
	電 力	144	95.5
	計	1,082	98.6
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	473	97.2] 100.6
	産業用電力	760	99.3] 102.8
	うち大口電力	(595)	99.5] (103.1)
	計	1,233	98.5] 102.0
販売電力量 計		2,315	98.5] 100.4
融 通 等		199	188.0

注. []内はうるう年の影響を補正した前年比
(本年2月分の電力量に28/29を乗じた値と昨年2月分の電力量を比較し算出)

大口電力の主な産業別内訳

	電力量	前年比		
		(百万kWh時、%)		
		28/2月	28/1月	27/12月
織 維	28	100.6	107.8	107.6
紙・パルプ	90	102.3	102.5	73.4
化 学	86	105.8	100.8	100.7
鉄 鋼	74	105.3	97.4	96.0
機 械	149	103.6	97.3	94.1
そ の 他	168	101.3	97.8	97.4
合 計	595	103.1	99.2	92.7

供給の概要

- ・原子力は、前年同様、伊方発電所が全号機停止している。
- ・水力は、今年が前年以上に豊水であったことから、前年比 155.6%となった。
- ・火力は、水力および新エネの増加などから、前年比 98.1%となった。

供給実績

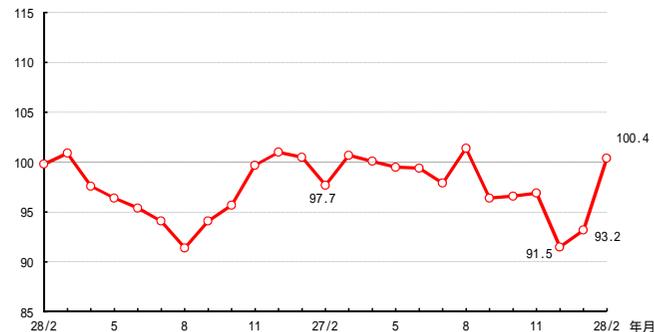
		(百万kWh時、%)		
		電力量	前年比	備 考
原子力	(0)	0	-	出水率 158.2% (27年2月出水率 112.6%)
水 力	(11)	295	155.6	
火 力	(82)	2,197	98.1	
新エネ	(7)	192	133.8	
発受電計	(100)	2,684	104.3	
その他		7	-	
供 給 計		2,677	104.4	

注1. ()内は構成比

注2. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考1) 販売電力量の前年比の推移

前年比：%



(参考2) 4県都平均気温

	28/1月				28/2月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	8.9	6.0	5.6	6.8	6.5	8.7	7.3
平年差	2.4	0.1	0.2	0.8	0.7	1.9	0.1	0.9
前年差	2.7	0.8	1.5	0.1	1.6	1.5	1.5	0.6

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量 計	(101.3)	539	(99.0)	375	(100.9)	784	(99.7)	617

注. ()内は前年比